

<報道用資料>

※この資料はご自由にお使い下さい

みわ・ダッシュ村通信

2010年4月6日配信

農業生産法人(株)京都府天田郡みわ・ダッシュ村

担当:清水三雄

お問い合わせは 075-954-6666

京都丹波のみわ・ダッシュ村、外食産業対象に一口農場主を募集

みわ・ダッシュ村の農場を「自社農場」と謳える一口農場主 莫大な投資をせずとも自社農場が実現できることがメリット

京都府丹波で農業を営む、農業生産法人・株式会社京都府天田郡みわ・ダッシュ村(略称:みわ・ダッシュ村)では、レストランや居酒屋などの外食産業を対象に一口農場主(消費者株主)を募集しております。一口農場主は当社の株主(オーナー)であるため、当社の「農場」のオーナーともなり、莫大な投資をして都会近郊に農地を購入するよりはるかに低価格で「自社農場」が実現します。

みわ・ダッシュ村は、京都府丹波地方福知山市三和町に点在する耕作放棄農地を購入し、復元させた農地で農業を行い、農業の振興・地域の活性化を行っております。メイン農場では、15,000坪の農地で農作物・山で果樹の栽培を行っております。耕作放棄農地の復元や地域の活性化という社会性の高い事業を行う当社は、一般の方や企業にも当社の事業に関わりをもっていただき、多くの力で社会的意義のある活動をしようと考え、個人や企業が当社の株式を一定数購入し「株主」として登録していただく「一口農場主」というシステムを設けました。一口農場主には当社農場で栽培した米や農作物を5年間毎月株主優待として送付します。当社の一口農場主制度は、2010年3月21日付け日経新聞1面「ニッポンの農力 第5部 宝は眠っている」コーナーで紹介されました。

▼外食産業が一口農場主に登録するメリット

近年、ワタミグループの農業進出など大手外食産業が農業生産法人を設立し自社農場で自社栽培をするケースが見られます。顧客に対し安全安心という付加価値を提供し、信頼獲得や安全安心思考の顧客層の開拓が目的と考えられます。ところが、すべての外食産業がワタミグループと同様に自社農場を持てるわけではありません。農業への新規参入は地元の農業関係者からの強い反対に合うことがあり、また大規模な農地の購入や農場の運営には莫大な資金が必要です。さらには農業経験者の雇用や未経験者の教育なども必要となり、時間や労力、コストの先出しに耐えられる体力を持つ企業はごく少数です。

みわ・ダッシュ村の一口農場主に登録することで、莫大な資金を投入して農地を購入することなく「自社農場」が実現します。また、飲食店舗に必要な農作物については、指定品種・指定栽培(無農薬・有機栽培に限る)で当社が栽培を受託することができますので、農業経験者の雇用の必要もなく、農場運営に時間や労力を割かれることもありません。まさに、人・モノ・金の投資を最小限に抑えつつ自社農場を持つことができます。

そして顧客に対して、「自社農場の野菜を使っています」や「契約している、みわ・ダッシュ村で作った安全・安心の食材を使っています」と謳うことが可能で、それにより顧客との信頼関係強化につながります。

顧客への「安全安心」を提供したい外食産業企業に、投資を最小限に抑えながら「自社農場」を実現できる一口農場主制度を活用いただきたいと考えております。

一口農場主についての詳細は当社ホームページをご覧ください。

[みわ・ダッシュ村](#)

[検索](#)

■お問合せ先 : 農業生産法人・株式会社京都府天田郡みわ・ダッシュ村(略称・みわ・ダッシュ村)
: 清水三雄(しみずみつお)

■住所: 京都府福知山市三和町下川合710番地の3

■TEL: 075-954-6666(代表取締役村長 清水三雄直通)